

# おおず



大洲藩鉄砲隊輪ゴム鉄砲組、放て～

# がんばる大洲っ子

今月の題字作成者

喜多小学校 3年（現：喜多小学校 4年）

坂本 朱里 さん



私は今、週に1回ダンス教室に通っていて、松山で開催されるダンスコンテストに向けて練習中です。いろいろなステップがあり、覚えるのが難しいこともありますが、先生がいつも笑顔にさせてくれるので楽しく踊れます。また、全員がそろって踊れた時はとてもうれしいです。

喜多小学校には、最近新しいウサギが仲間入りしました。休み時間などに小屋に行つて、かわいいウサギを見るのが楽しみになっています。

私のお母さんは、おいしいクッキーやケーキ作りが得意です。私もお手伝いしているうちに、将来はケーキ屋さんになりたいと思うようになりました。とても優しく、おいしいケーキ作りができるお母さんのような大人になりたいです。

## 4月の納税など 納期限は 4月30日(木)です。

税 別	4月	5月	6月	7月
市 県 民 税			1期	
固 定 資 産 税	1期			2期
軽 自 動 車 税		全期		
国 民 健 康 保 険 税				1期

市税などの納付は、便利で安心な「口座振替」を。

## 現在の大洲

	人の動き(先月比)	交通事故(昨年同期)
人口	46,200人 (-63)	件数 34件(27件)
男	21,990人 (-30)	死者 1人(0人)
女	24,210人 (-33)	負傷者 42人(29人)
世帯数	20,258世帯(-16)	

(2015年2月末現在)

## CONTENTS 目次

2ページ	がんばる大洲っ子・今月の表紙
3ページ～	おおずニュース
10ページ～	シリーズ
13ページ	まちのわだい
14ページ～	おしらせ
25ページ～	図書館・保健センター・ 心と体の健康ガイド
28ページ	がんばるひと (榎谷棚田保存会)

## 今月の表紙

picture 写真

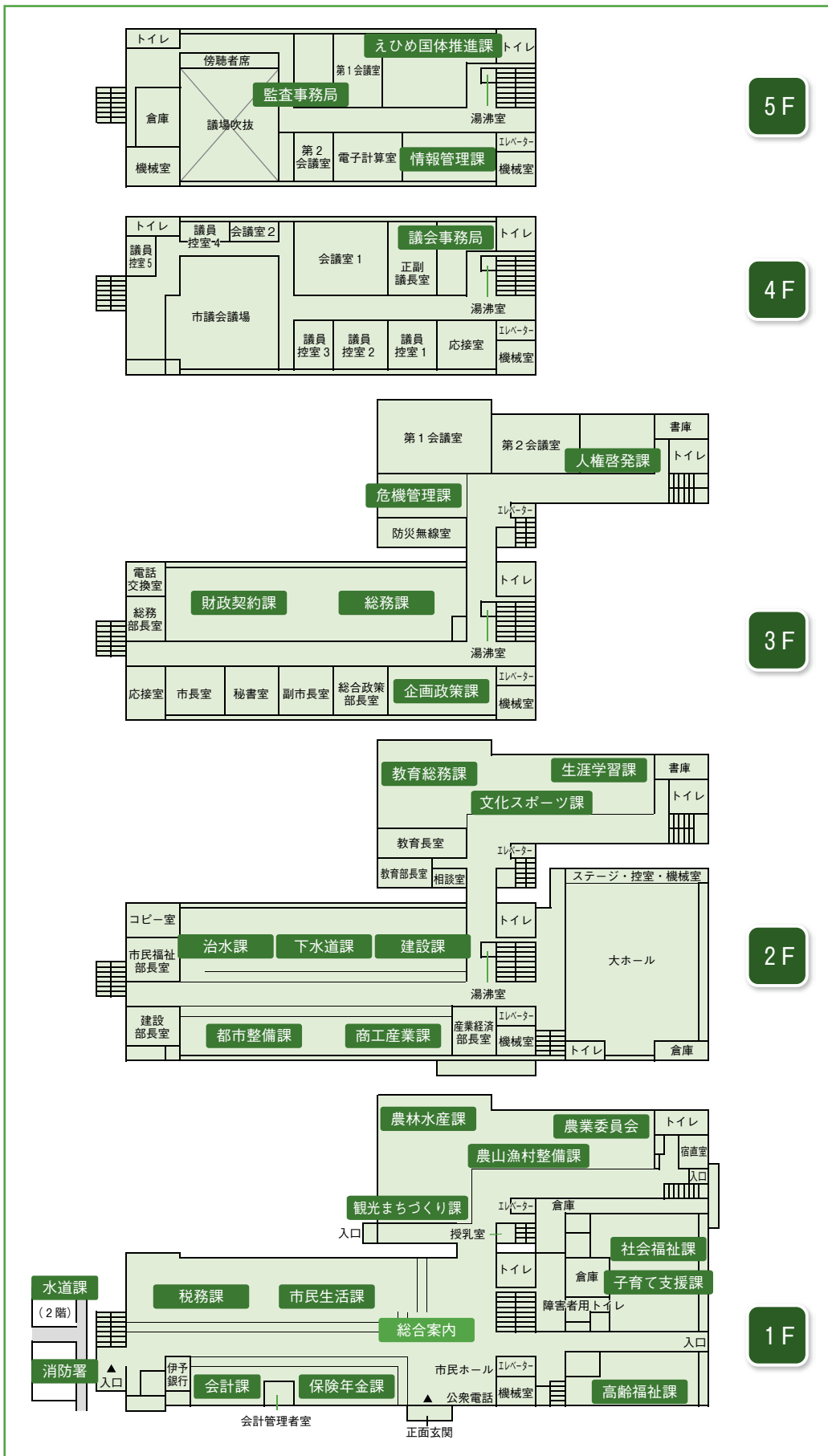


3月1日(日)、大洲藩鉄砲隊輪ゴム鉄砲組の一日限定の結成と、火縄銃輪ゴム鉄砲の披露が大洲城で行われました。

木製の火縄銃輪ゴム鉄砲は、大洲藩鉄砲隊と内子手しごとの会が共同製作したものです。

ちびっこ和太鼓サークル「和奏」による太鼓演奏で登場した輪ゴム鉄砲組の迫力に、周りからは歓声が起こっていました。

# 庁舎内の配置が新しくなりました



【部名の変更】  
 旧 企画財政部 → 総合政策部  
 新

庁舎別館改築工事の完成と組織改正に伴い、4月から次のとおり組織名称と本庁舎の事務室の配置を変更します。

【課名の変更】  
 旧 市民課  
 新 市民生活課  
 旧 保険環境課  
 新 保険年金課  
 旧 学校教育課  
 新 治水第1課 → 治水課  
 旧 人事秘書課  
 新 教育総務課 → 総務課へ再編

【課の新設】  
 旧 財政課  
 新 財政契約課  
 旧 企画調整課  
 新 企画政策課  
 旧 国体準備課  
 新 えひめ国体推進課  
 旧 治水第2課  
 新 治水第1課 → 治水課  
 旧 治水第2課  
 新 治水第2課 → ダム対策課  
 旧 大ホール  
 新 大ホール

【問い合わせ先】  
 総務課 ☎ 24 1774

子育て支援課

## 地域の安全を守るために ～平成27年大洲市消防出初式～

平成27年大洲市消防出初式が、3月1日(日)、大洲市民会館で行われました。昨年に引き続き屋内での開催となり、市内各地から1151人の消防団員が出席しました。

式典では、殉職消防職団員に対する黙とうを捧げ、その後清水市長が「近年は、局地的な豪雨や台風などで災害が頻発し、地域防災力の重要性が増大している。また、南海トラフ巨大地震などの発生も予測され、地域防災体制の確立が課題となっている。これからも、みなさんと共に、安全で安心できるまちづくりに取り組みたい」と式辞を述べました。

表彰では、活動に功績のあった298人の団員などに、表彰状や感謝状が贈呈され、受章者を代表して、菅田分団岩井輝満分団長が「このたび表彰の栄に浴し、身に余る光栄である。支えてくれた家族や活動へ理解をいただいた職場のみなさんに感謝したい。今後も、消防の使命と任務の重要性を再認識し、職務に励みたい」と謝辞を述べました。

今年の出初式では、式典中の音楽演奏を大洲北中学校吹奏楽部が行い、表彰時などの雰囲気盛り上げました。



今回の出初式で、表彰されたみなさんは次のとおりです。  
(敬称略・一部省略)

消防庁長官表彰

永年勤続功労章(5人)

本部副団長 岩田 清一

本部副団長 山口 喜生

本部副団長 中津 博文

大谷分団 分団長 丸川 浩一

大洲地区広域消防事務組合 消防司令長 守田 嘉洋

日本消防協会会長表彰

功績章(1人)

本部副団長 上田 恒雄

精績章(4人)

本部副団長 上満 啓司

本部副団長 万願寺直記

本部副団長 芳我亀代士

粟津分団 分団長 丸川 浩一

勤続章(6人)

榊生分団 副分団長 松本 壽憲

大和分団 団員 小西 繁信

白滝分団 分団長 松岡 幹雄

白滝分団 部長 酒井 秀治

白滝分団 班長 岡本 和幸

河辺分団 団員 富永 正明

愛媛県知事表彰

功労章(10人)

菅田分団 分団長 岩井 輝満

上須戒分団分団長 古宅 守男

長浜分団 分団長 大谷 喜則

喜多灘分団分団長 高木 房雄

榊生分団 分団長 松田 裕之

中央分団 分団長 沖野 晃己

正山分団 分団長 稲田 弘安

大谷分団 副分団長 久保 壽男

大洲地区広域消防事務組合 消防司令 川上 弘二

消防司令 徳永 栄治

消防司令 徳永 栄治

愛媛県消防協会会長表彰

竿頭綬(1団)

市消防団 団長 中川 一夫

功績章(6人)

本部副団長 上満 啓司

本部副団長 万願寺直記

本部副団長 福岡 憲司

本部副団長 富永 憲司

本部副団長 宮崎 宗延

本部副団長 松岡 幹雄

勤続章(20年以上)

勤続章(20年以上)

勤続章(20年以上)

勤続章(20年以上)

勤続章(20年以上)

勤続章(20年以上)

勤続章(20年以上)

勤続章(20年以上)

勤続章(20年以上)

勤続章(20年以上)

勤続章(20年以上)

勤続章(20年以上)

勤続章(20年以上)

勤続章(20年以上)

勤続章(20年以上)

南久米分団団員 菊地 辰男

菅田分団 班長 新田 耕士

大川分団 団員 西宮 耕士

大川分団 班長 上満 耕士

柳沢分団 班長 西宮 耕士

栗津分団 班長 川上 耕士

上須戒分団班長 高尾 真二

長浜分団 班長 高尾 真二

榊生分団 班長 東 誠幸

出海分団 班長 高岡 誠幸

出海分団 班長 徳見 和也

大和分団 班長 古野 和也

大和分団 班長 二宮小百合

中央分団 班長 川井 達司

中央分団 班長 城戸 康博

中央分団 班長 白岩 輝彦

予子林分団班長 友和 輝彦

予子林分団班長 松田 輝彦

勤続章(10年以上)

勤続章(10年以上)

勤続章(10年以上)

勤続章(10年以上)

勤続章(10年以上)

勤続章(10年以上)

勤続章(10年以上)

勤続章(10年以上)

勤続章(10年以上)

勤続章(10年以上)

勤続章(10年以上)

勤続章(10年以上)

勤続章(10年以上)

勤続章(10年以上)

勤続章(10年以上)

勤続章(10年以上)

大和分団 団員 寺田 智

白滝分団 班長 新田 耕士

白滝分団 班長 西宮 耕士

白滝分団 班長 上満 耕士

中央分団 班長 川上 耕士

中央分団 班長 高尾 真二

大谷分団 班長 東 誠幸

大谷分団 班長 高岡 誠幸

岩谷分団 班長 徳見 和也

予子林分団班長 古野 和也

予子林分団班長 二宮小百合

河辺分団 分団長 徳見 和也

河辺分団 分団長 古野 和也

女性分団 班長 二宮小百合

規程章(10年未満2人)

規程章(10年未満2人)

規程章(10年未満2人)

規程章(10年未満2人)

規程章(10年未満2人)

規程章(10年未満2人)

規程章(10年未満2人)

規程章(10年未満2人)

規程章(10年未満2人)

規程章(10年未満2人)

規程章(10年未満2人)

規程章(10年未満2人)

規程章(10年未満2人)

規程章(10年未満2人)

規程章(10年未満2人)

規程章(10年未満2人)

規程章(10年未満2人)

規程章(10年未満2人)

規程章(10年未満2人)

規程章(10年未満2人)

規程章(10年未満2人)

## 長浜中学校、おめでとう日本一

1月24日(土)、平成26年度NHK全国短歌大会の入賞・入選の発表があり、長浜中学校がジュニアの部中学校部門で学校大賞の栄冠を手に入れました。

この大会は、短歌という伝統文芸を新しい時代の人にも受け継いでもらうことを願って、NHK・NHK学園の主催で毎年行われています。長浜中学校では、この大会に10年前から応募して、今年度も全校生徒152人が短歌づくりに取り組みました。

国語科担当の祖母井美香<sup>か</sup>先生は「子どもたちの日常生活の中で気づいた発見や感動、ユーモアの感覚が素直に表現されて、それを作品として認めてもらったことが、生徒たちにも私にもうれしいことだ」と受賞の喜び

を語られました。

また、個人賞としてジュニア100人一首賞に3人、入選に13人の生徒の作品が選ばれています。



### ジュニア100人一首賞

部活中窓からのぞいた夕焼けが楽譜見つめる横顔照らす

雨上がり大きな虹が掛かったよサクソフォーンのロングトーンで

夏の雲押し上げるように拳手をする自信ないまま答えた英語

一藤伊万里さん

榎尾 安奈さん

坂本 梨帆さん

## なでしこジャパンを目指して

昨年12月13日(土)・14日(日)、高知県で開催された第5回四国女子U-12(12歳以下)8人制サッカー大会において、菅田SSSパンサーズが見事優勝し、全国大会への切符を手に入れました。

菅田SSSパンサーズは、平成5年にサッカーを通じてコミュニケーションを図り、友だちの輪を広げようことを目的に、大洲FCパンサーズとして発足しました。昨年の4月から現在のチーム名に変更し、今年で22年目を迎える市内唯一の女子サッカーチームです。

2月18日(水)、選手9人と監督が市役所を訪れて四国大会の優勝と、2月28日(土)・3月1日(日)に滋賀県野洲市で行われる、第4回びわ湖カップなでしこサッカー大会(U-12)出場の報告を行いました。

報告会で向井尚子<sup>なおこ</sup>キャプテンは「今までの練習の成果を発揮し、みんなで助け合いながら優勝を目指します」と全国大会への抱負を語りました。

野洲市で行われた全国大会では、大阪府、山梨県、熊本県のチームを相手に予選リーグを戦い、3試合で1失点という堅守で1位通過し、決勝トーナメントに進みました。土砂降りの雨の中で行われたトーナメントでは、ぬかるみや水たまりに苦戦し、初戦千葉県チームに惜敗しました。その後順位決定戦に進み、埼玉県チームには勝利したものの、京都府チームに惜しくも敗れてしまいました。最終結果は、参加32チーム中6位入賞を果たし、さらにチームワーク賞も受賞しました。



(写真提供：パンサーズ)

## 平成26年度 大洲市人権・同和教育研究大会

平成26年度大洲市人権・同和教育研究大会が、2月20日(金)、国立大洲青少年交流の家で開催されました。

午前中は、5つの分科会において10本の実践報告があり、参加者の熱心な協議がなされ、差別のない社会こそが、住みよい地域であり、誇れるふるさとであると、差別解消への意欲を新たにしました。

午後からは、「もう少しおもしろくしませんか」の討議題でシンポジウムが行われました。江嶋修作さん、坂田かおりさん、瑠梨さん、川口泰司さんら4人のシンポジストからは、貴重な体験談や提案をいただき研修を深めることができました。

シンポジストの発言の一部を紹介

介します。

「差別をされてうれしい気持ちになる人はいないでしょう。ただ、差別する人が一番ショックを受けてるのは、相手が何の衝撃も受けていないと感じるときです。

私たちは、これまでの長い間、部落差別解消を目指して闘ってきました。その結果、差別の実態は大きく改善されました。そして、今の若い世代のなかには、差別にへこたれない人たちが育ってきています。差別するあなたこそ恥ずべきではないかと、堂々と主張することができず。また、一方では、被差別に直面したとき、さりとかわす生き方もできます。差別を、自然体で乗り越える力が徐々に育ってきています」



## 地域住民の模範として

～平成26年度愛媛県政発足記念日知事表彰～

肱川町山鳥坂の城戸壽賀身さんが、自主的な道路清掃や草刈り活動による、道路の美化保全への貢献をたたえられ、愛媛県政発足記念日知事表彰を受賞されました。

城戸さんは、平成4年に雑草をよけようとして道路から崖下に転落した自転車通学の学生を助けて以来、20年以上活動を続けてこられました。

2月27日(金)、肱川支所にて表彰を受けた城戸さんは「身に余る名誉をいただき、光栄だ。私がやらなければ誰がやる、という思いで今まで続けてきた。この賞に恥じぬよう、元気が続く限り頑張っていきたい」と述べられました。



## 大洲のグルメを召し上がれ

2月18日(水)、リジェール大洲において、「～大洲の食財を味わう 進化系“どんぶり飯”～アマゴのさつま・とんくりまぶし試食会」が開催されました。

0級グルメは、過去4回で57品が認定されているものの、供給体制や価格の点から提供店に限られ、一般的な認知度が不足しているという問題点がありました。そのため今年度は、過去に受賞した作品の中から2品を選び、常時提供できる仕組みづくりを行いました。

市や飲食店関係者約40人が出席した試食会では、富永明佳大洲特産品開発普及委員長が「大洲には、自慢できる料理があるのに生かされていない。今回、アマゴのさつま・とんくりまぶしを提供できる店が増えた。今後、大洲の料理をさらに広めていきたい」と抱負を述べられました。



大洲市名誉市民称号贈呈式

中村修二教授記念講演要約文

「青色LEDの開発から、  
ノーベル賞受賞まで」

2月3日(火) 大洲市民会館



ノーベル物理学賞は、発明・発見  
なんです

最初に言いたいことがあります  
て、ノーベル賞発表後の紹介につ  
いてなんですが、赤崎勇先生、天  
野浩先生、私の3人がノーベル物  
理学賞を同時に受賞したんですけ  
れども、日本の報道では、赤崎、  
天野氏が「青色発光ダイオードの  
開発」、中村氏が「その量産化技  
術の開発」なんです。私、怒った  
んですよ。「量産化技術でノーベ

ル賞受賞なんてどこにも書いてな  
いぞ」って。

ノーベル物理学賞というのは、  
アルフレッド・ノーベルの遺志で  
「物理学における発明あるいは発  
見にノーベル賞を授与する」って  
書いてあるんですよ。発明・発見  
なんです。量産化技術に、誰も賞  
はあげないんですよ。それで賞を  
もらえるなら、日本の製造業は、  
世界で一番量産化技術が得意です  
から、日本のサラリーマン全員が  
ノーベル物理学賞を受賞できてし  
まいます。

そのことがあって、ノーベル賞  
授賞式の日、報道のインタビュ  
ーは受けないって言ってたんです。  
そうしたら、記者に「メダルの感  
触はどうですか」って突然質問さ  
れて「そんなんだ金の属や」っ  
て怒ったんです。すると次の日、  
「中村氏、金属と言った」ってす  
ごい記事になってしまいました。

### 学生時代のこと

私は小学2年生から大洲に來  
て、育ったんですよ。大洲ってい  
いところですよ。盆地で、静かで。  
みんな親しくてね。高校生のみな  
さん、勉強するのにこんないい  
環境はないですよ。

喜多小学校のころは、遊んでは  
かりでした。大洲北中学校では、

兄貴がバレーボール部のキャプテ  
ンをしていて、バレー部に入らさ  
れたんです。ところが、バレー部  
がスパルタなんです。朝練もや  
って、夜も暗くなるまでやって。  
当時は体育館がなくて、外でフラ  
イングレシーブとかやらされて傷  
だらけです。当時の北中学校の目  
標が「根性」なんです。そのバレ  
ー部が弱くて、いつも負けるんで  
す。でも社会に出てからすごい自  
信になるんですよ。あれだけ苦労  
して、あれだけ負けてもやり続け  
る。これはすごい自信になりますよ。

高校は、大洲高校に入ったんで  
す。またバレー部の人が来て、入  
れっというんで、入ったんですよ。  
大洲高校のバレー部も弱くて、多  
分、勝ったことがないと思います。  
練習も厳しくて、フライングレシ  
ーブ何回やったら強くなるとか言  
って…。

結局、高校3年間部活動やって、  
今度は大学受験です。小さいころ  
から算数・数学、物理は好きだっ  
たんですが、文系の科目が大嫌い  
だったんです。それで、徳島大学  
が理系の配点が高いので、徳島大  
学工学部に進学しました。大学に  
入ったら自由に勉強できると思っ  
ていたんですが、入ったら2年間  
は教養課程というのがあって、一  
般教養をつけなさい、というわけ

です。そうしたら、また文系の科  
目です。もう嫌になって、下宿に  
閉じこもって仙人生活を始めたん  
です。6カ月間。何をしていたか  
と言いますと、自分の好きな数学。  
物理、あるいは哲学などの本を読  
んだんです。高校時代に大嫌いだ  
った本をいっぱい読んだんです。

その時に、自分の考えができた  
んです。自我に目覚めたんです。  
自分の言うことが正しいと。

そうしたら大学を早く卒業した  
いと思って、卒業のための試験の  
テクニクを覚えたんです。試験  
の2、3週間前に理解なんてせず  
に、覚えるまで本の斜め読みを4、  
5回やるんです。丸暗記してその  
まま試験で百点満点とれました。  
これで、徳島大学電子工学科で一  
番になったんですよ。でも、2、  
3週間で全部忘れます。これは、  
何にも意味ないです。本当の勉強  
というのは、好きで理解しないと  
ダメです。

### 日本のためにも海外へ

一方、アメリカは好きな科目を  
選択して勉強できるので、若人  
はほとんどアメリカに行ってほし  
いです。

今の日本の一番の課題は、グロ  
ーバリゼーションです。日本は素  
晴らしい製品を作るんです。携帯



電話も世界で一番いいものを作った。太陽電池も、テレビも、シリコンの半導体も全部そう。でも、今、落ち込んでいます。これは日本国内だけで売って、外国に売れないからなんです。私が思うに、これは言葉の問題なんです。英語ができない。高校生、大学生で外国に5年行ったら若いからペラペラになります。ぜひチャンスがあつたら、特にアメリカに行ってください。日本を外から見たら、みなさんの人生観がガラッと変わります。

日本の場合、有名高校、有名大学、有名企業、これがエリートコースです。でも、定年まで永遠のサラリーマンです。経済が悪いとレイオフ（一時解雇）です。アメリカで優秀な学生は、自分で会社を起こすか、中小企業に入ります。だれも大手に行きません。全然考え方が違うんです。こういうのは、日本にいたら分かりません。ぜひ、海外に出てほしいです。それが日本のためですから。

### 青色LEDとの出会い

徳島大学を早く卒業しようと思つたんですけど、卒業研究を始めたら面白くなって、修士課程まで行って卒業したんです。それから徳島県阿南市の日亜化学工業株式

会社に入りました。そこで赤色LEDやそれに使う結晶成長などをやつたんです。入社してから10年間で、3つくらい製品化したんですけど、売れなくて赤字だったんです。そうしたら、会社のお偉いさんが「責任とって辞める」って言うんです。それで私も頭にきて、じゃあ辞めてやろうと、辞める前に好きなことをやってやろうと。それが青色LED（発光ダイオード）だったんです。

会長のオフィスに行つて、辞める覚悟で「青色LEDやらしてください」って言つたら、「いいよ」って言うんです。「じゃあ、5億円出してください」って言ったら、これも「いいよ」ですよ。ほんの5分、10分の話でした。それで、MOCVD（青色LEDの材料の結晶成長に使う装置）の研究に一年間フロリダ大学に行つたんです。そうしたら、ドクターコースの学生が言うんです。「あなた、ドクター（博士課程）持つとるか」「論文書いたか」。徳島大学では、修士課程しか出てないから博士課程は持つてないし、論文も書いてないんです。そうすると扱いがガラッと変わるんです。アメリカの科学者、研究者はドクターを持っています。ドクターを持つていない人は、テクニシャン（科学者、

研究者の手伝い）なんです。ですから、科学者を目指す人は、必ずドクターを持つててくださいね。それで、帰国してから論文を書いてドクターを取ることが夢になったんです。それが1989年。

### 世界初の高輝度青色LED発明

青色LEDの材料には、二つあって、一つはセレン化亜鉛、もう一つが窒化ガリウム。当時、世界中の研究者は、セレン化亜鉛を選んでいました。窒化ガリウムは、ほんの数グループでした。セレン化亜鉛は論文が山のようにあり、窒化ガリウムはほとんどありません。窒化ガリウムなら論文がかけると思つて選び、それがたまたま発明につながつたんです。

最初、市販で2億円のMOCVDを買つたんです。でも全然できなくて困つて、改造を始めたんです。そこで、中学、高校時代のバレーで苦労した当時を思い出して、それから一年半、休みなし。午前中は装置の改造、午後は反応。これを一年半。そして新しい装置ができたんです。「ツーフローMOCVD」といって、90年の10月のことです。ここから世界一になったんです。窒化ガリウムあるいは窒化インジウムガリウムが、どんな結晶とくらべても世界一なん

ですよ。これが異常なくらい発光するんです。

中学、高校時代に、バレーボールで苦労して、それでも勝てない。負け続けても、それでもやる。それが非常に自信になります。苦労はエネルギーになるんです。私はそのエネルギーを使って「ツーフローMOCVD」をつくりました。そして、93年末に窒化インジウムガリウムを発光させた高輝度の青色LEDを、世界で初めて発明したんです。それがノーベル賞を受賞した理由です。

会場の高校生のみなさん、高校時代にいろんな苦労があると思うんですけど、それを生かして、ぜひ頑張ってください。



※これは、講演を要約したものです。講演の様子は、DVDにより市立図書館で貸し出しています。